

日本聖公会 奈良基督教会礼拝堂

2015/05/01



日本聖公会奈良基督教会・親愛幼稚園
司祭 ヨハネ 井田 泉

教会沿革

- 1885 (明治 18) 年 伝道開始
- 1887 (明治 20) 年 奈良基督教会創立
- 1909 (明治 42) 年 登大路町に土地 1600 余坪を取得
- 1919 (大正 8) 年 桐苗 700 本植樹
- 1928 (昭和 3) 年 新会堂定礎式
- 1929 (昭和 4) 年 新会館完成
- 1930 (昭和 5) 年 現礼拝堂完成 聖別式
親愛幼稚園開園 (園長・吉村大次郎司祭、保育経営・ミス・ヘスター女史)
「子どもたちの魂を豊かに育てる」ヘスター
- 1982 (昭和 57) 年 学校法人親愛学園親愛幼稚園発足
- 1987 (昭和 62) 年 パイプオルガン設置 (翌年パイプオルガンびらき)
- 1990 (平成 2) 年 シオンホール完成
- 1997 (平成 9) 年 国の登録有形文化財 (礼拝堂・園舎・渡り廊下)
- 2005 (平成 17) 年 セーラハウス完成 マリア館改築完成
- 2014 (平成 26) 年 園舎耐震工事完了
- 2015 (平成 27) 年 奈良県指定有形文化財

1. 現在の礼拝堂は 1930 年建築

奈良基督教会の信徒で宮大工の大木吉太郎氏による設計・施工。

古都奈良の風致景観を考慮して和風木造とした。

主として吉野の樹齢 150～200 年の檜を選定して切り出し、用いた。

鴨居と欄間は教会で育てた桐、聖卓は教会の楠を用いている。

2. 和風の建築であるとともに、キリスト教の礼拝堂としての特徴・性格を明確に備えている。

いにしへの奈良の文化とのつながりを感じさせる曲線（聖卓の脚、コミュニオンレール等）。祭壇周りは聖書とその周辺世界、またシルクロードを思わせる意匠、ドイツ製のパイプオルガン……多様な文化の出会い、共存・調和を思わせる。

3. 玄関棟上瓦 上に十字架、その下は 2 羽の鳩が向き合っている。

「イエスは、神の霊が鳩のように御自分の上に降って来るのを御覧になった。」

マタイ 1:10

「鳩は夕方になってノアのもとに帰って来た。見よ、鳩はくちばしにオリーブの葉をくわえていた。」創世記 8:11

・丸瓦（軒先）にすべて三つ葉（三位一体のシンボル）に十字架。

4. パイプオルガン （中央の十字架は祭壇の十字架と呼応関係）

教会創立百周年（1987 年）の際にささげられたもの。ドイツ・ボッシュ社製。

パイプの数は 1288 本。ストップは 19 本

5. リードオルガン

1870（明治 3）年、アメリカ・キンボール社製。日本では現役最古と言われる。

6. 竣工当初の教会の絵図（南東の壁）

7. 柱 会衆席は角柱 チャンセルは丸柱

「シロでのいけにえの食事が終わり、ハンナは立ち上がった。祭司エリは主の神殿の柱に近い席に着いていた。」サムエル記上 1:9

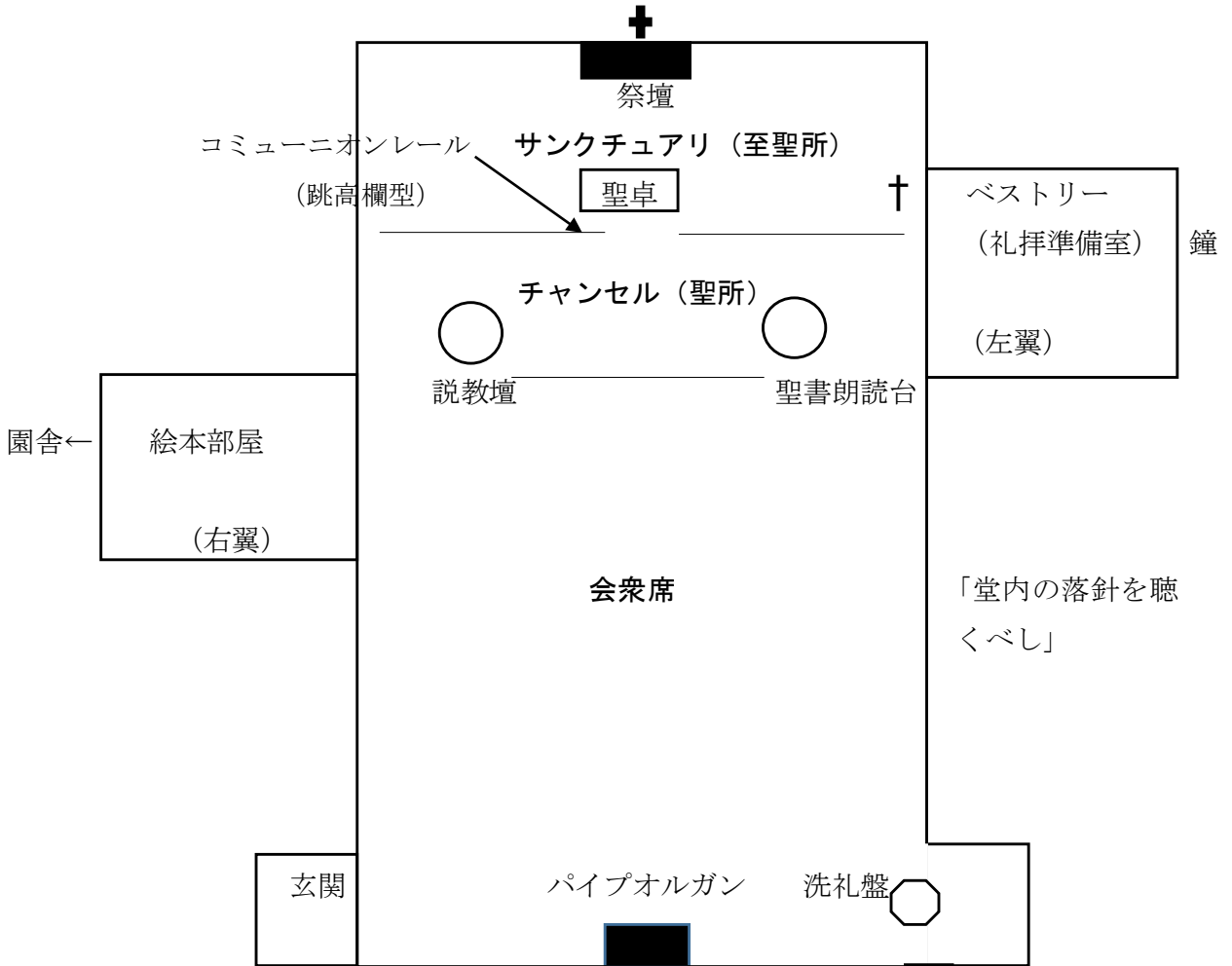
8. 格天井 ごうてんじょう 格子の形に組まれた天上。無数の十字架。

「わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれている」ヘブル 12:1

9. 鴨居・欄間 教会の桐を使用

10. 真壁 しんかべ 柱を露出させる方式

- 1 1. 建物全体は十字架の形をなしている。箱舟（創世記 6:14）を伏せた形とも。
 礼拝堂の目的——礼拝のために神に献げられた建物 祈りの空間



1 2. 十字架

- イエス・キリストがわたしたちを招く姿
- しっかり立ってわたしたちを支える姿
- わたしたちの重荷を引き受ける姿
- 十字架は神と人を結び、人と人、世界を結ぶ



「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。
 わたしがあなたがたを休ませてあげよう。」マタイ 11:28

祭壇上の十字架、花瓶、燭台は七宝焼（金属工芸品） 正倉院の宝物を模す
中央にギリシア文字 X（キー）と P（ロー）（Χριστός キリスト から2文字）

祭壇上方には三つの十字架が見える（柱と梁）

左右の壁も十字架が並ぶ——イエスを中心として手をつないでいる人々
『されこうべ』と呼ばれている所に来ると、そこで人々はイエスを十字架につけた。
犯罪人も、一人は右に一人は左に、十字架につけた。』ルカ 23:33

「もう一人の方が『イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い
出してください』と言った。するとイエスは、『はっきり言っておくが、あなたは今日
わたしと一緒に楽園にいる』と言われた。』」23:42-43

1 3. 祭壇・聖卓 主イエスの最後の晩餐の食卓をかたどる。聖餐式（ミサ）は最後の晩餐の再現するものでキリスト教の中心的礼拝。

聖卓は「対面式」の聖餐式（司式司祭と会衆が食卓を囲んで対面する形）をするようになって設置したもの。白布（リネン・クロス）はイエスを包んだ亜麻布（マルコ 15:46）を表す。中央と四隅の刺繍はイエスの五つの傷を示す。

1 4. ドッサル（祭壇背面装飾）

タペストリー（織物）。管1本ずつに織物を巻き付けてある。

教会創立百周年（1987年）の際にささげられたもの（京都・川島織物製）。

1 5. 聖書朗読台・説教壇

聖書朗読台は屋根の形。

「わたしが暗闇であなたがたに言うことを、明るみで言いなさい。耳打ちされたことを、屋根の上で言い広めなさい。」マタイ 10:27

三位一体（父と子と聖霊）のシンボル TREFOIL（三つ葉）が刻まれている。

1 6. 祭色 緑、白、赤、紫の4種 教会暦あるいは礼拝の意向によって決める
フロントル（祭壇前掛布）、プルピットフォール（説教壇前掛布）、レクターンフォール（聖書台前掛け布）、ストール、チャリスベール、バース等、色を揃える。

1 7. 洗礼盤 山口県産の大理石

鳩 聖霊の象徴。主イエスの洗礼のとき降^{くだ}った聖霊を示す。また

神の小羊 傷を受けて世の罪を除く救い主イエス・キリストのシンボル。

波 世の荒波を渡っていく人生の航路。

八角形 第8は天地創造の7日間の次の数。再創造・新生を示す。四角形は人と世界を象徴し、円は完全なる神を示すとされる。また人が神に引き寄せられて完全に近づいた形。